

おはりばこ メンバー 募集



Slöjd gille

スロイド

ジッレ

スウェーデンの小中学校には『家庭手工芸科』という科目があり、日本でいう図工と家庭科を合わせた授業のようです。子どもの頃から家庭内のものを自分の好みで手作りし、愛着を持って大事に使うという文化が育まれています。そんな文化背景を持つ市民は、Slöjd=家庭手工芸 gille=相互扶助

『Slöjd gille』というサークル活動を各地で行っています。皆さんの家庭手工芸を拝見させてください。

京都でも、手芸を通してお互いに助け合い学び合えるサークルを作ろうと思います。

そこであなたの手仕事を見せて欲しいなと思います。皆で商品を作ったり、ワークショップで作り方を伝えたり、教えるのではなく、共に手を動かし、共に感動し、共に前に進む。

「おはりばこ」の物語と一緒に紡いでみませんか？

『Slöjd gille/おはりばこ』

活動内容説明会

内容は両日同じですので、どちらかにご参加ください。
これまで作ったものがあればお持ちください。

2025年

11/9

日

11:00
AM 12:00

11/10

月

13:00
PM 14:00

参加希望の方は事前に記載のメールアドレスまでご連絡ください。

oharibako.kyoto@gmail.com

まちづくり活動
支援交付金

人それぞれのおはりばこ

日常は、自分の手で静かに編み直せる

どのお家にもあるお針箱。

小学校の時に買ったお針箱を使っている微笑ましい人もお見かけします。

その中身は日々暮らしに合わせて変化しているのではないのでしょうか。

そこには十人十色のお針箱があります。

そんなお針箱が活動のイメージに合うと思い名付けました。

日常を自分の手で静かに更新していく。

そしてそれが他者や社会とつながっていく力になり

暮らしや手仕事の中に、確かな価値=美が宿ると信じます。



ISBN8411では不定期で好きな手芸を持ち寄り楽しむ時間があります。



スウェーデンのSlöjd gilleではクリスマスの敷物が完成され販売されます。



近所の方が残り糸を集めて小さな手袋を作ってくださいました。



ISBN 8411

生活編集所『ISBN8411』は、「日常にあるストーリーを編集し届ける」場として2022年に始まりました。昭和16年創業した出版社『山口書店』の使われなくなった建物をリノベーションし、山口書店の紙ではない出版というところから始まりました。

山口書店の創業者は「日常を大切に、未来をつくる」という思いを持って新聞社『夕刊京都』『京都日の出新聞』出版社『山口書店』を立ち上げました。市井の人に教養と文化を伝え続けていた思いを引き継ぎ『ISBN8411』の場があります。



★ ISBN8411 は京都芸術デザイン専門学校校舎通路挟み向かいにあります

★ 駐車場は四川料理「駱駝」さんの回って後ろにあります

左京区 まちづくり活動
支援交付金

〒606-8253

京都市左京区北白川瀬ノ内町40-2

OPEN 金 土 13:00-17:00

TEL 075-781-6121

MAIL book@yamaguchi-shoten.co.jp

JR 京都駅 地下鉄烏丸線 国際会館行き

地下鉄 北大路駅・市バス 204 系統 銀閣寺方面

バス停 上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前 徒歩 2分

叡山電鉄 茶山駅 徒歩 10分



ISBN 8411